



防災と福祉で 品川の未来を守る

松永 よしひろ

< 学歴 >
東福岡高等学校
福岡大学理学部応用物理学科
同大学院理学研究科応用物理学専攻
< 趣味 >
囲碁・魚釣り・茶道
ソフトテニス、ソフトボール
< 職歴 >
衆議院議員 松原仁（公設第一秘書）
品川区議会議員（4期）
< 役職経験 >
厚生委員長
建設副委員長
文教・区民委員・行財政改革
オリ・パラ特別委員
青少年問題協議会委員
国際友好協会評議員
大井消防団部長（第二分団）
品川区ソフトボール連盟（顧問）
大井地区少年野球連盟（顧問）

防災

全ての区民が安心して暮らせる街に

- 防災訓練や防災体験館の活性化
- 耐震診断や耐震補強への補助
- アスベスト除去・調査への助成
- 自治会単位での避難の最適化
- 避難所の強化・衛生面の向上

品川区から「孤独」をなくす

- 老老介護や認知介護などの課題解決
- 地域医療・福祉の充実と連携強化
- 介護人材の確保・処遇の改善
- 親亡き後の障がい者の方への支援
- バリアフリー拡充・障がい者への理解促進

福祉

教育

子どもが安全にのびのび育つ地域に

- 教育現場・教員の労働環境の改善
- 老朽化した設備の計画的な刷新
- 生き抜く力を育成する取り組み
- 不登校・いじめへの対策
- いじめを相談できる環境の整備

品川区民の声を議会に届けます 区政をよりよく、生活をよりよく

品川に生まれてよかった。ずっと品川に住みたい。
誰もが生きがいを実感できる街、誰一人孤独に
ならない豊かな街を目指し、品川区発展のために
何事にも全力を尽くす思いで一生懸命に行動し、
「現場第一主義」を掲げ、区民のみなさまの声を
真摯に受け止め、活動してまいります。

品川区議会議員 松永よしひろ



区民との対話を1番に。

皆様の職場や交流の場に訪問させていただきます。
ぜひ区民の皆様のお声をお聞かせください。

毎月タウンミーティング開催中

松永よしひろ事務所

品川区南大井1-13-16-1101
TEL: 03-3768-7550
FAX: 03-3768-7550
yarutaisd041015@yahoo.co.jp
ご意見・ご要望お待ちしております。

品川区民の声を議会に届けます。
区政をよりよく、生活をよりよく。

松永よしひろの政策



高齢者福祉

老老介護や認知介護では、介護疲れ、共倒れといった介護問題の解決に向け、全力で取り組む

●気軽に相談できる窓口、地域包括支援センターの設置

※地域包括支援センターは、高齢者の暮らしを地域でサポートするために設けられている機関で、各自治体や社会福祉法人、NPOなどが運営しており、要介護認定の有無などの制限なく、気軽に相談が出来る場所です。

●地域や医療、福祉などの専門機関と連携し、認知症の方々に支えていく仕組みづくりに取り組む

※イベントや防災訓練などに参加し、地域ぐるみで支え合える環境の整備を行っていく。

●介護人材の確保に取り組む

※外国人人材の確保をはじめ、処遇改善も含め、様々な取り組みを行っていく。

●フレイルを予防する取り組み

※フレイルは、要介護になる一歩手前の状態で、主に「身体（筋力の低下）、精神（認知症、うつ病）、社会性（孤独・孤立）」の3つの要素があり、こうした事が重なってしまうと自立生活が出来なくなってしまうため、かかりつけの医療機関や地域包括支援センターなどの相談しやすい環境の充実を図ってまいります。

●居住の場の確保

※高齢者でも、障がいを持っていても、安心して住める場所の確保を進めていく。

●孤独・孤立への対応

※地域ぐるみで、誰一人取り残さない環境を作っていく。

障がい者福祉

差別のない環境の整備
誰もが参加できる社会に

●親亡き後、一人でも暮らせる住まいや職場など、経済的な自立の環境整備

※障がいのある子どもが、親がいなくなった後も生活環境を大きく変えずに過ごせる支援体制の充実を目指す。

●日常生活や社会生活を営む上で様々なバリアを無くす

※物理的な段差や差別のない環境を整備する。

●孤独・孤立への対応

※町会・自治会で把握し、助け合える環境を作っていく。

●障がい者への理解を深める啓蒙活動

※障がい理解啓蒙講座などを開催し、地域への理解を進める。

防災

災害が起きたとしても、
安心して暮らせる街を目指す

●地震や台風、集中豪雨などの自然災害への対策

※防災訓練や防災体験館を活用し、自助、共助の気持ちが大切であることを周知する。

※防災訓練の参加人数を増やすため、ポスターや区民への周知活動を行い、自助・共助の大切さを伝えていく。

●耐震診断や耐震補強などの防災関連の助成額を増額する

※災害被害を最小限に抑えるため、助成件数を増やす。

●アスベスト調査費用や除去費用の助成件数を拡充する

※アスベストによる住民や作業員の健康被害をなくす。

●災害弱者を無くし、ペット同行避難が出来る環境の整備をする

※町会・自治会の名簿をつくり、把握しやすくするため、DX化を進めて行く。

●避難所での衛生面の強化

※井戸水が活用できる環境整備を進めて行く。

教育

必要なスキルを身に着けるための教育の推進
ワクワクするような発見と興味を育む

●不登校・いじめ対策

相手の立場に立って考える力を身に着ける

※地域で見守れる環境を整備する。

●いじめの相談がしやすい環境づくり

※誰にも相談できない環境を減らす取り組みを行う。

●生き抜くための力を育成する取り組み

※誰もが生きがいを感じ、自分らしく主張ができ、生きられる環境を整備し、また、講座などを開催する。

